

コンクリート保護剤（無溶剤型）

タックダイン

PE-10GⅡ

ファイバーダイン株式会社

FIBER DINE

項 目

1. 性 状
2. 物 性
3. 成 分
4. 粘 度
5. 可使時間
6. 指触硬化時間
7. 接 着 性
8. 塗膜厚さ（たれ限界）
9. タックダイン P E－1 0 G II の取り扱いについて

1. 『 性 状 』

項 目	タックダイン P E - 1 0 G II	
外 観	主 剤 硬化剤 混合物	灰色液状 微黄色液状 灰色液状
配合比	主 剤 硬化剤	3 1
粘 度	主 剤 硬化剤 混合物	1 4, 0 0 0 m P a ・ s 2, 0 0 0 m P a ・ s 5, 5 0 0 m P a ・ s
比 重	主 剤 硬化剤 混合物	1. 6 0 1. 0 5 1. 4 0
可使時間	5 0 分 （1 k g 混合時）	
硬化時間	1 6 時間	

2. 『 物 性 』

項 目	強 さ	試 験 方 法
引 張 強 さ	2 3 N/mm ²	JIS K 7113
圧 縮 強 さ	8 0 N/mm ²	JIS K 7208
曲 げ 強 さ	5 0 N/mm ²	JIS K 7203
引張せん断接着強さ	1 5 N/mm ²	JIS K 6850
硬 さ	8 7 HDD	JIS K 7215
シャルピー 衝撃値	2. 4 N・mm/mm ²	JIS K 6911

※ 試験温度 2 0 °C 接着強さは、鋼板と鋼板の接着時

3. 成 分

項 目	成 分	配 合 比
主 剤	液状エポキシ樹脂	47.3
	体質顔料 酸化チタン 炭化カルシウム 硫酸バリウム フタロシアニングレー	26.1
	だれ止剤 微分シリカ	1.6
硬化剤	変性脂肪族ポリアミン	25.0

4. 粘 度

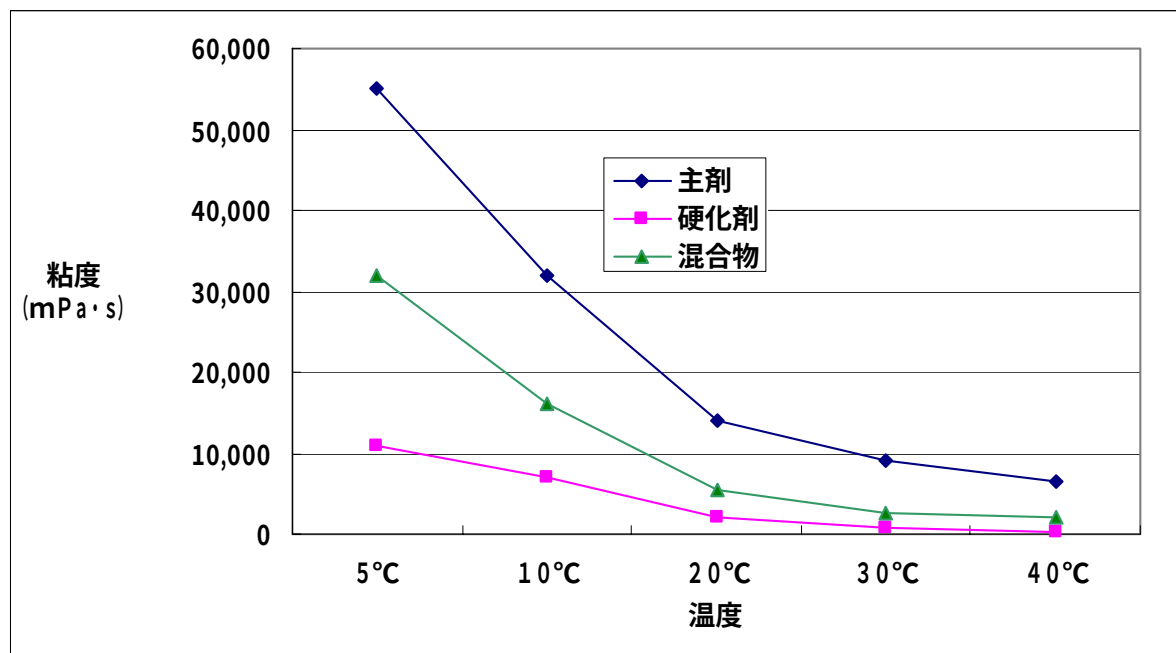
各温度にした循環器付き恒温槽に、主剤および硬化剤を容器にいれ放置し、各雰囲気温度にした後取り出し、直ちに回転粘度計で測定した。

また、混合物については、各雰囲気温度にしたものを正規配合通り計量し攪拌した後、粘度の測定を行った。

単位 (mPa・s)

温度	主剤	硬化剤	混合物
5℃	55,000	11,000	32,000
10℃	32,000	7,000	16,000
20℃	14,000	2,000	5,500
30℃	9,000	800	2,700
40℃	6,500	300	2,000

タックダインPE-10GIIの粘度



5. 可使時間

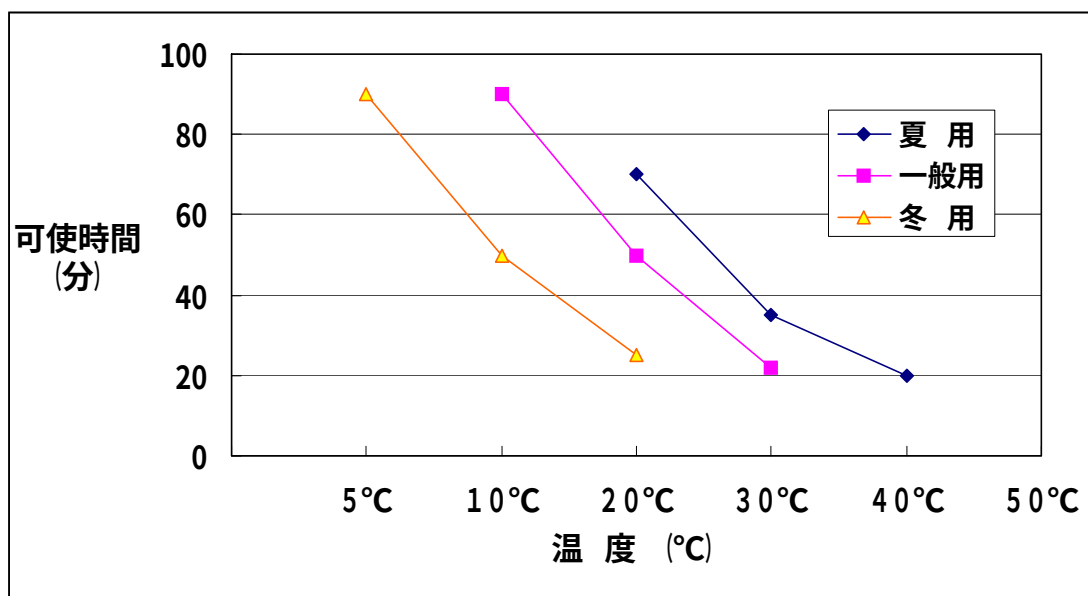
各温度にした主剤750g および硬化剤250g を1L のポリ容器に計りとり混合攪拌し、その中心部の発熱温度を測定し、最高発熱温度到達時間の60%を可使時間とした。

なお、測定は各温度に設定した循環器付き恒温槽中で行った。

単位 (分)

温 度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
夏 用			70	35	20
一般用		90	50	22	
冬 用	90	50	25		

タックダインPE-10GIIの可使時間

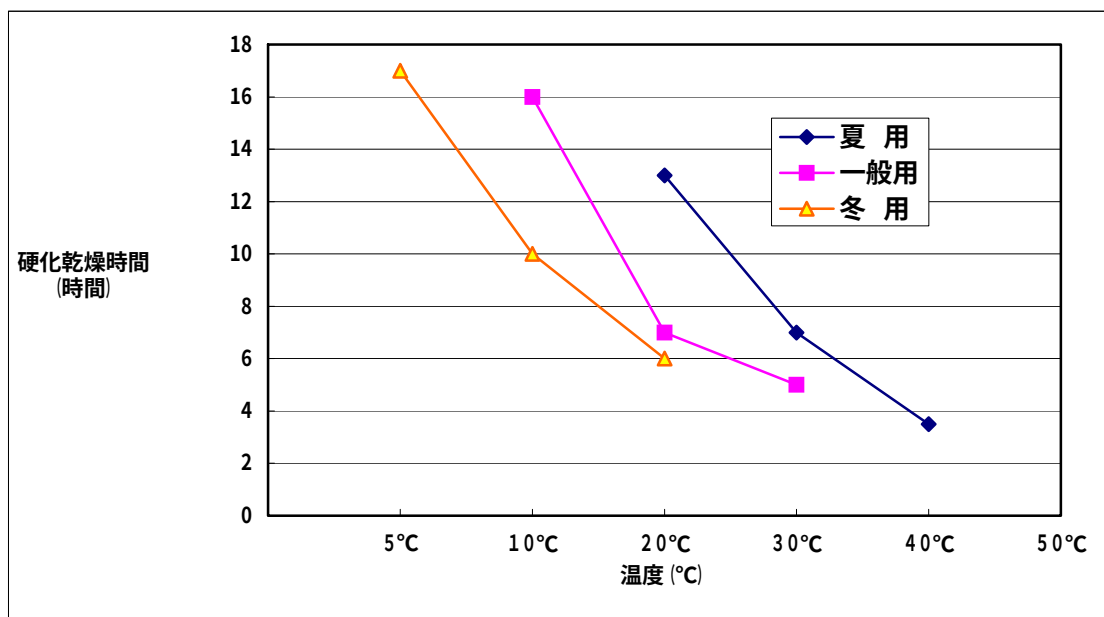


6. 指触硬化時間

単位 (時間)

温 度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
夏 用			13	7	3.5
一般用		16	7	5	
冬 用	17	10	6		

タックダイン P E－10 G II の指触硬化時間



7. 接 着 性

① 引張せん断接着強さ

J I S K 6 8 5 0 に準じて各種材料へのタックダインプ E - 1 0 G II の引張せん断接着強さを測定した。

試験温度 2 0 °C

試験速度 2 . 5 mm / m i n

養生条件 2 0 °C 7 日間

被着体の表面処理

処理条件 1 サンダー処理 (N o . 1 2 0)

処理条件 2 サンドブラスト処理 (珪砂 6 号)

被着体の厚さについて

鉄、銅、真鍮、アルミニウムは、1 . 6 mm 厚さ

ステンレスは、2 . 0 mm 厚さ

硬質塩ビは、3 . 0 mm 厚さを使用

単位 (N / mm²)

各種材料	処理条件 1	処理条件 2
鉄 (S P C C - B)	1 4 . 7	1 6 . 7
ステンレス (SUS-304)	1 5 . 7	1 7 . 6
銅	9 . 8	1 2 . 7
真 鍮	1 2 . 7	1 4 . 7
アルミニウム (# 1050)	1 0 . 8	1 2 . 7
硬質塩ビ	4 . 9	4 . 9

※硬質塩ビの数値については、破断時の値

②付着強さ

J I S A 6 9 1 6 に準じて各種材料へのタックダイン P E - 1 0 G II 付着強さを測定した。

試験温度 2 0 °C

試験速度 5 mm / m i n

養生条件 2 0 °C 7 日間

被着体の表面処理

処理条件 1 サンダー処理 (N o . 1 2 0)

処理条件 2 サンドブラスト処理 (珪砂 6 号)

被着体の寸法について

鉄板、モルタルとも 7 0 × 7 0 × 2 0 mm

単位 (N / m m²)

各種材料	処理条件 1	処理条件 2
鋼 板	1 1 . 8	1 4 . 7
モルタル板	2 . 3	2 . 3

※モルタル板の数値については、モルタル板破壊時の値

8. 塗膜厚さ

単位 (μ)	
温度	たれ限界
10℃	500
20℃	450
30℃	420
40℃	400

9. タックダインPE-10GⅡの取扱いについて

- ①タックダインPE-10GⅡは、2液タイプのエポキシ樹脂ですので、主剤と硬化剤を定められた配合比で計量し、よく混合攪拌して均一になってから使用してください。計量ミスや攪拌不足は正常な化学反応が起こらず性能低下の原因になります。
- ②主剤と硬化剤を混合しましたら、可使時間内にご使用ください。
可使時間は温度が高いほど短く、低いほど長くなります。また、一度の混合量が多いほど可使時間は短くなります。
- ③低温時には熱風乾燥してください。
5℃以下でのご使用は、樹脂の硬化反応が著しく低下し、樹脂の性能に支障を与えるため中止してください。
熱風乾燥時には、塗布面の露結に十分に注意をしてください。塗布面が、乾燥していないと十分な接着力を得ることができません。
- ④溶剤類は、施工器具の洗浄のみに御使用ください。
- ⑤保存中に樹脂分の浮きが出ている場合がありますので、その場合は計量前によく攪拌してから御使用ください。
- ⑥ほとんど毒性はありませんが、皮膚についたときは石鹼等でよく洗い落として下さい。また、目に入った場合は直ちに水洗いし、医師の診断を受けてください。

10. 荷 姿

1 ケース 8 k g (2 k g × 4 セット)
1 セット 2 k g (主 剤 : 1 . 5 k g 硬化剤 : 0 . 5 k g)

コンクリート保護剤（無溶剤型）

タックダイن

PE-10GⅡ

ファイバーダイン株式会社



コンクリート保護剤

タックダイン

PE-10GⅡ

タックダインPE-10GⅡは、エポキシ樹脂の特性を有し、耐摩耗性に優れた、無溶剤タイプのコンクリート保護剤です。

『 特 徴 』

1. 2～3回塗布するだけで、コンクリートのホコリを防止します。
2. コンクリートへの接着が強く、耐摩耗性に優れています。
3. 耐水性、耐薬品性に優れています。
4. 機械的強度及び、耐久性に優れています。

『 用 途 』

1. 食品、製紙、科学等各種工場の床
2. 各種倉庫の床
3. コンクリート構造物の下地
4. 各種繊維シートの接着剤

『 使用方法 』

1. 主剤、硬化剤を定められた配合比（3：1）で計量してください。
2. 主剤と硬化剤が均一になるまで充分に混合攪拌してください。
3. 混合攪拌したものは可使時間内に使用してください。
4. ローラー刷毛・ゴムベラ等で均一に塗布してください。